

宇宙を旅したかぼちゃの種！！

スペースシャトルディスカバリーで、宇宙飛行士山崎直子さんと一緒に宇宙を旅して地球に戻ってきた種から育ったカボチャの種を分けてもらい、学校の庭に植えました。

生徒の懸命の世話のおかげで、沢山のカボチャが収穫できましたので、お隣の錦城小学校の皆さんにお分けしました。



北陸中日新聞の記事 12/2 (金)

加賀聖城高が錦城小へ贈る 宇宙カボチャ 今度は育て

加賀市の加賀聖城高校の生徒が、宇宙飛行士山崎直子さんとともに宇宙を旅したカボチャの二世を育て、収穫した実二個を一日、同市錦城小学校の四年生に贈った。児童は来年の理科の授業で、このカボチャの種を育てる。(服部展和)

山崎さん持参の2世
加賀聖城高一年の西米スペースシャトル・野孝基さん(みら)生徒 ティスカバリーに搭乗三人が錦城小を訪れ、した際、同市産のカボチャ代表の藤田康輔君、チャ、松白白の種を(こ)と唐笠琉真君(か)持参。精選した種を同に渡した。カボチャは市の日本園芸生産研究直徑十五センチ(九日)の種を育て、一万五千粒と同十センチ(四日)の種を収穫し、全国の二個で一人は(あり)希望する学校に配つが(こ)と笑顔させた。

加賀聖城高は(こ)う千葉県松戸市出身の、ちの二粒を譲り受け、山崎さんが昨年四月、六月に学校の畑にまいた。



「一粒が育ち、九月「ました」と振り返りから十一月にかけて実「みんなで頑張って育てを五個つけた。錦城小「てほしい」と話してでもこの種をまいたがいた。

発芽しなかったため、加賀聖城高が実を贈ることにした。西野さんは「特に授粉に苦労し

西野さん(みら)からカボチャを受け取る児童たちは「加賀市錦城小で